

『肝機能障害が身障者手帳の対象に』

肝臓川柳



『判断は 専門医師に 聞いてちょ(う)』

(身障者手帳……手帳……てちょう……ベタですが(汗))

平成22年4月1日より身体障害者福祉法において肝機能障害が追加される事になりました。すなわち肝機能障害の方へも身障者手帳が交付されるわけです。

しかし！！手帳交付の認定基準は大変厳しく、高度の肝臓機能障害により日常生活が制限される場合に限ります。

【認定条件】

①肝予備能を表す Child-Pugh 分類(下記で解説)で10点以上が3ヶ月以上続いている方

※肝障害がかなり重症でないと10点以上にはなりません

②日常生活活動の制限等を具体的に数値や症状で表した基準が10項目あり、その内、何項目かが当てはまる方

▼簡単に言うと▼

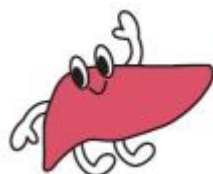
『黄疸、腹水などを呈する重症肝障害の患者さんのみが対象』

《《Child-Pugh 分類とは》》

下記5項目を1から3まで点数化したもので、

点数が高いほど肝機能が悪化している事という指標になります

	[1点]	[2点]	[3点]
脳症程度	なし	軽度	昏睡
腹水程度	なし	軽度	中程度以上
アルブミン値	>3.5	2.8-3.5	<2.8
プロトロンビン時間	>70%	40-70%	<40%
総ビリルビン値	<2	2.0-3.0	>3



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

今年の4月から肝機能障害の方へも身障者手帳が交付されますが認定基準は厳しく、『黄疸、腹水などを呈する重症肝障害の患者さんのみ』が対象となります。肝障害があり判断に迷われる時は肝臓専門医へ受診するようにしましょう。

(文 : 福井県肝疾患診療連携拠点病院協議会

野ッ俣 和夫)